



アーティストが語るヤマハギターの音像

YAMAHA ギターLABO



Presented by **Get Cool GUITAR**

VOX 梶 昊佑 (moumoon) with LL36

ギターの作りが本当に素晴らしいと気づかされる



梶 アコースティックギターは、もう7年ほどヤマハのLL36をメインで使っています。長く弾き込むほどに、ギター自体の作りが本当に素晴らしいと気づかされます。生音は、ボディの大きさ通りの迫力があり、レンジが広くとてもバランスが良いです。そして、アタック感が明瞭で表現の幅が広い、高級感のあるアコギの音色です。

もうひとつの魅力はライブのときの音で、このギターのラインの音は、他のどんなシステムよりも音楽的にいい音がすると思い

ます。リハやライブのときに、周りのギタリストに“アコギの音がいいね”ってびっくりされることが多いです！

僕はLL36の他にも、LL26、LS26、NCX900Rなどのヤマハギターも使っています。ずっと昔、アマチュアの頃に使って、ずっと使い続けてきたFGもあります。どのギターもそれぞれに個性があって、何よりひとつひとつがいていねいに作られていることがわかる、良い楽器です。どれも本当に大好きです。

▼ 梶 昊佑の愛用モデル



“ラグジュアリー（豪華）”をコンセプトに、長年培った職人の技術と経験を結集して製作されたLL36。ヤマハ独自のジャンボボディで、精緻なインレイや抜群の鳴りを誇るラッカー塗装など、ギターを弾く喜びが実感できる逸品だ。

YUKA (Vo) もヤマハ APX900 を愛用！



ライブでは、YUKAもヤマハのAPX900（生産完了モデル）を使用。クリムゾンレッドバーストカラーが鮮やかだ。



LATEST SINGLE
Hello, shooting-star

【CD + DVD】 ¥1,800 + 税

【CDのみ】 ¥1,000 + 税

エイベックス

15年2月25日リリース

vol.2 ISEKI (キマグレン) with LL36

ギター1本でのライブでも音圧があるので、
しっかりお客さんの元に届く



ISEKI デビュー前、たまたま友人のつながりでヤマハのギターを扱っている方と知り合い、そのときにLL36に惚れ込んで使いはじめました。ギターも人も、運命的な何かでつながっているように思う。長いこと一緒にいるので、弾きすぎてキズも付いてますが、そのぶん愛着も湧いています。

LL36は、カポをつけてもチューニングが狂いにくいのでライブに向いている。オープンコードを弾いたときの鳴りがいい。時間の経過とともに、圧倒的に鳴りが良くなりましたね。さらに、生音をしっかり集音して出している所以臨場感が違うし、音圧もあるのでギター1本でのライブでもしっかりお客さんの元に届きます。今後ともさまざまな使い方や新たな発見が期待できるのも、楽しみのひとつです。

ヤマハギターの魅力は、内蔵ピックアップの質がとても良いので、ツアーやフェスなどさまざまな場所や環境でも、ストレスなくモニターを聴くことができる点。ローとハイのバランスも良いので、弾き語りなどでも活躍します。



LAST BEST ALBUM LAST SUMMER DAYS ~きまぐれBEST~

【初回限定盤】 ¥4,800 + 税

【通常盤】 ¥3,000 + 税

ユニバーサル

15年7月1日リリース

▼ ISEKI の愛用モデル



精緻なインレイや豊かな鳴りを表現するラッカー塗装など、LL36シリーズのコンセプトである「ラグジュアリー」を継承した逸品。本機を元に、ヤマハの独自技術「A.R.E.」を採用したニューモデルがLL36 AREである。

サウンドホール内部



ラベルには、モデル名とシリーズナンバーが記されている。

VOL.3 UNIST with LJ66 / LLX36C ARE / LLX16



今までのヤマハギターのイメージをひっくり返す衝撃的な音

ZEN 約10年くらい使ってます。18歳のときに上京したんですけど、そのときはオールドギターしか使ってなかったんです。だから、新しいギターを買ったほうがいいなと思っている。試奏していて、最後の最後にヤマハのギターを弾いてみたら、それが今までのヤマハギターのイメージをひっくり返す衝撃的な音で。貝の装飾もそうですが、ヘッドの音叉のインレイが

気に入ってますね。普通はもっと小さいインレイだから、これは超レアです。

GAKU LLX36C ARE は14年6月から使っています。まとものある音で、指弾きもコード弾きもパーカッシブなプレイも、バランスの良い音が出ます。オールジャンルで使えますね。

TAMA これよりもグレードの高いLLX36C AREも使っていて、このLLX16は最近使い始

▼ZENの愛用モデル



YAMAHA LJ66

ZEN自らがデザインしたインレイが魅力のオーダーモデル。希少材として有名なハカランダを使用。ボディの振動を最大限に生かすため、8つのブレイシングレイアウトを採用。レスポンスに優れたダイナミックなサウンドは圧巻のひと言。

▼GAKUの愛用モデル



YAMAHA LLX36C ARE

豊かな音量を生むオリジナルジャンボボディ。ハイポジションからローポジションまで、安定したグリップ感と滑らかな演奏性を提供する新しいネック形状を採用（構造は強度の高い5層）。塗装は極薄のラッカー。

▼TAMAの愛用モデル



YAMAHA LLX16

A.R.T.3 ウェイピックアップシステム (SYSTEM-60) を搭載。中音域を拾うMAINピックアップとトレブル/ベースのサブピックアップから構成されており、独立して調整できる。生産完了品。

めました。アコギって同じモデルでもギターによって音が違うけど、これはすごく“当たり前”で。弾き語りのときも、上(高音)から下(低音)までしっかり出るので、歌っているときもまったく不安がないです。



LATEST ALBUM Acoustic

【初回生産限定盤】

¥3,056 + 税

【通常盤】

¥2,778 + 税

エイベックス

14年7月9日リリース

vol.4 Czecho No Republic with APXT2 / BB2024

私が持っている他のアコギよりも優しい音



武井優心

タカハシマイ

タカハシ もともとひとつ前の APXT1 を持っていて。それは、楽器屋さんに行き見た目がかわいかったから買いました(笑)。普通のアコギも持っているんですけど、チェコの楽曲的にそこまでアコギを弾き鳴らさないし、私は鍵盤も弾くからギターを弾かないときは背中に回せるので。あとは、私が持っている他のアコギよりも優しい音っていう印象です。小さいのに音に深みがあって、メンバーにもよく弾いてもらうんですけど、“本当にこのアコギはいい音だ”って褒められます。

武井 BB2024 を使い始めたのは12年くらいから。パワーがあって、ベーシックな音はほぼアン直で作れます。あと、コントロールの切り替えてジャズっぽい輪郭のある音になったり。でもやっぱり、弾きやすいのが一番大きいですね。ローズウッド指板って、モノによっては汗を吸ってベトベトしちゃうものもあるけど、木材の選び方がいいのかな。ヤマハのローズウッド指板ってどれもいいですよ。サラサラしてて。

▼タカハシマイの愛用モデル

▼武井優心の愛用モデル



YAMAHA
APXT2

屋外でも気軽に楽しめるトラベラーギター。同社の APX をひと回り小さくしたサイズで、小型ながら独自のピックアップシステム「A.R.T.」を採用。ボディの鳴りを忠実にアンプへ出力する。



YAMAHA
BB2024

圧倒的迫力のロックサウンドを放つ、ヤマハ伝統の BB。弦とボビンとの距離を近づけた、オープンフェーズ構造によるピックアップを採用。独自の木材改質技術を施すことで、抜群の鳴りを実現！



LATEST ALBUM MANTLE

【初回限定盤】 ¥3,200 + 税

【通常盤】 ¥2,722 + 税

日本コロムビア
14年7月16日リリース

vol.5 Suzu with LLX26C ARE

生音でもスピーカーを通してキレイな音色



Suzu はじめて買ったギターは、ルックスで選んだんですね。好きなアーティストがテイラー・スウィフトだったから、彼女が持っているギターに似ているものを選んだりしてたんですけど、最近は音色を重視しています。

ヤマハのLLX26Cは2本目のギターで、14年の5月から使い始めました。それまで、ヤマハと聞くとピアノのイメージだったんです。家にあったピアノもヤマハだったので。でも、ギターもあるんだ！って知って見に行ったら、たくさんモデルがあって。このギターを選んだ決め手は、音色！生音でもスピーカーを通してキレイな音色で、私は1人での弾き語りのときにボディを叩いてパーカッション的なこともするんですけど、その音もめっちゃ迫力のある音がしたんです。あと、カッタウェイモデルを今まで持っていなかったもので、それも決め手でした。ライブのときD.I.を通してもいい音なんですけど、ラジオ収録で生で弾いても音が前に出てくるから好きです。



LATEST ALBUM 未来地図

【初回限定盤】¥3,750 + 税
【通常盤】¥3,000 + 税
ユニバーサル
15年5月6日リリース

▼ Suzu の愛用モデル



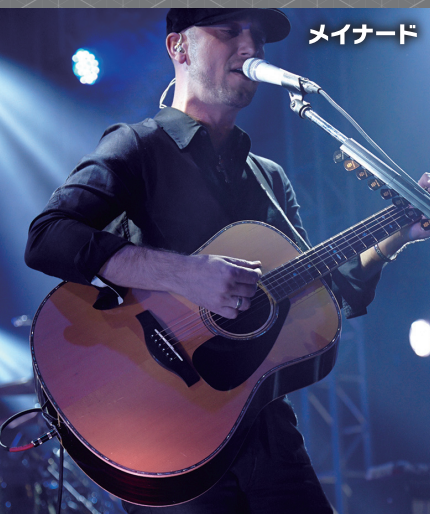
長年弾き込まれたヴィンテージギターのような、豊かな鳴りを実現する「A.R.E.」技術を採用。さらに「A.R.T.」ピックアップシステムの搭載により、ライン接続時も奥行きのあるアコースティックサウンドを奏でる。

コントロール部



ボリュウム、トレブル、ベースのコントロールノブは、ブッシュ/ブッシュ型で、直接ボディサイドにマウントされている。

Vol.6 MONKEY MAJIK with LL36 ARE / LJX26CP



ヤマハギターはナチュラルな “木”の音が生きている

メイナード フィンガーピッキング時も、音がとてもはっきりしている点が入っています。ストロークで弾くときも音のレンジが広く、どんな楽曲にもしっかり対応できます。14年はツアーやフェス出演など、ステージで使用する機会も多かったのですが、ラインでスピーカーから出す音が生音に近いことも魅力ですね。

ブレイズ レコーディング時にもよく使用していますが、ヤマハのギターは、とてもナチュラルな“木”の音が生きているように感じます。MONKEY MAJIKの音楽は、オーガニックなサウンドを大切にしているので、それにとってもマッチしていますね。音の立ち上がりもいいことも魅力です。

▼メイナードの愛用モデル

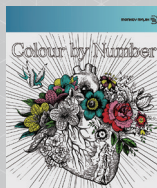


精緻なインレイや極薄のラッカーフィニッシュなど、職人が誇る高い技術が凝縮された逸品。「A.R.E.」は、長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現する独自の木材改質技術のこと。

▼ブレイズの愛用モデル



まるでマイク録音したかのような、空気を感溢れるサウンドが得られる新開発ピックアップシステム「SRT」を搭載。ハウリングの原因となる周波数を抑える「A.F.R.」も内蔵している。



LATEST ALBUM

Colour by Number

【CD + DVD】 ¥4,500 + 税

【CD + Blu-ray】 ¥5,000 + 税

【CDのみ】 ¥3,000 + 税

エイベックス

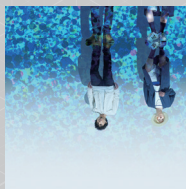
15年2月4日リリース

vol.7 吉田結威 (吉田山田) with LJ26 ARE

ヤマハギターは真面目で真っ直ぐな音がする



吉田 LJ26 ARE は 14 年から使用しています。キマグレンの ISEKI さんに紹介してもらい、ヤマハの方々にも協力していただいて何本も弾き比べた末に決めた 1 本です。これまで自分が使用してきたギターの中では、もっともボディが小さいタイプだったので、パワーが足りないんじゃないかと最初は心配していましたが、全然そんなことはなく、アコースティックギター特有のふくよかな音の厚みがあって気に入っています。ヤマハギターの魅力は、真面目で真っ直ぐな音がするところです。



LATEST SINGLE キミに会いたいな

【LIVE DVD 付き
初回限定盤】¥1,852 + 税
【通常盤】¥1,204 + 税
ポニーキャニオン
15 年 6 月 17 日リリース

▼吉田結威の愛用モデル



YAMAHA LJ26 ARE

長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現する、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E」を採用。ネックは 5 層構造で強度と美しさを兼ね備えている。

vol.8 ディスケ with LLX26C ARE

ラジオで弾き語りするときにも重宝しています



ディスケ 14年の夏から使い始めました。国産のギターは1本も持っていなかったの、興味があって。このモデルは、小さいのにめちゃくちゃ生音が鳴るんですね。それまでヤマハのギターを触ったことがなかったから、わりと大人しいギターなのかなって勝手な先入観があったんですよ。でも、荒々しいゴツさもあれば繊細さもあって、むしろ一番バランスが良いかなって思っているぐらいです。

夏の《音霊 OTODAMA SEA STUDIO 2014》で初めて使ったんですけど、どんな曲にも合う気がして。バンドの中でもちゃんとアコギの音が聴こえてくるので、ステージに立っているときも、モニターからちゃんと音が出てくれるのが弾きやすいです。生音も好きで、ラジオでマイクを立てて弾き語りをするときにも重宝していますね。

せかいにひとつのフタリ
ディスケ



LATEST SINGLE
せかいにひとつの
フタリ

【初回生産限定盤】 ¥1,528 + 税
【通常盤】 ¥1,204 + 税
EPIC Records Japan
15年5月20日リリース

▼ディスケの愛用モデル



YAMAHA LLX26C ARE

ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用。ノンスキャロップドXブレリーシング、高い演奏性を実現する新しいネック形状など、音色や演奏性にこだわり尽くしたスベックを装備。オープンギアタイプのペグなど、ウィンテージテイスト溢れる外観も魅力だ。

コントロール部



ピックアップアンプシステムは「システム60。メインピックアップアンプ、低音側/高音側のサブピックアップアンプそれぞれ音量を個別に調整することができる。

Vol.9

MY FIRST STORY with The FG / LJ26 ARE



Teru

Sho

ボディとネックが響いて、弾き手が入り込めるギター

Sho 弾いた瞬間に“あ、これはヤバイやつ”と思いました(笑)。ネックを握ったときの安定感というか、安心感。ボディとネックがすごく響いて、弾き手が入り込めるギターだなと。The FGを選んだ理由は、アルペジオなどのフレーズがすごく心地良く、ちょうどいい音で鳴ってくれるからです。ヤマハギターを使うのは初めてだった

のですが、すごくていいいな作りで、さすがだなと思いました。

Teru 試奏しに行ったとき、弾いてみてビビってきた。気に入ってる点は、普通に弾いたときの鳴りはもちろん、ラインで出力したときのサウンドに温かみがあるところ。値段以上のクオリティですね。ぜひ一度弾いてみてください。

▼Shoの愛用モデル



66年登場のヤマハが誇る名機、FGのデザインを継承しつつ最新技術のすべてを投入して製作された本機。ボディはすべて厳選された単板材を使用しており、クリアで味わい深い音色を演出。

▼Teruの愛用モデル



長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現する、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用。驚異的な弾き心地を提供する新しいネック形状、強度の高い5層構造ネックを採用している。



LATEST ALBUM
虚言NEUROSE

¥2,300 +税
INTACT RECORDS
14年10月29日リリース

V.O.H.O 高橋優 with LL36 ARE

トータルバランスが整った、
どんな場面にも活躍できるギター



高橋 繊細なサウンドです。《高橋優 LIVE TOUR 2014-2015「今、そこにある明滅と群生」》で使ったアコースティックギターの中で、もっとも高音の鳴りがいいです。バンドの中でジャガジャガと弾き語るよりも、弦1本1本の音色がより皆さんに届いてほしいということで、セットリストの中でもアコースティックコーナーとバラードコーナーに位置付けている場面で使用しています。

ヤマハギターは万能。そんなイメージを僕は持っております。ジャンルを問わず、さまざまなミュージシャンの方が使用しているからです。ツアーで使わせていただいたLL36 AREは、シャリッとした高音の鳴りが印象的な1本。メーカーによって音色や見た目に特色があり、もちろんヤマハにもその色があると思いますが、現状僕の印象としてはトータルバランスが整った、どんな場面にも活躍できる、そんなギターがヤマハの魅力のように思っております。



BEST ALBUM
高橋優BEST
2009-2015『笑う約束』

【初回限定盤】¥3,900 +税
【通常盤】¥3,200 +税
ワーナーミュージック・ジャパン
15年7月22日リリース

▼高橋優の愛用モデル



精緻を極めたインレイ、抜群の鳴りを実現する極薄のラッカーフィニッシュを採用。職人の技術が詰まった逸品で、広いダイナミックレンジと音量バランスは他の追随を許さない。

VOL.11 渋谷龍太 (SUPER BEAVER) with LJ26 ARE

歌に寄り添ってくれる素敵なギターです



渋谷 このギターとのお付き合いは、本当にまだ始まったばかりなのですが、すぐに馴染んでくれました。音のキレがとても良く、深い部分はとてもふくよかに響いてくれます。歌に寄り添ってこないギターは多いですが、このギターは歌に寄り添ってくれる素敵なギターです。

ヤマハギターの魅力は、ブランド力とか、安心感とか。そういうことじゃないのかもしれないけど、それを裏切らないってところが魅力だと思います。名前が先行しないこと、実力と音がまず先行していること、そこが魅力的です。



LATEST ALBUM 愛する

¥2,500 + 税
[NOiD] / murffin discs
15年4月1日リリース

▼ 渋谷龍太の愛用モデル



ミディアムジャンボボディで、ボディトップには長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現する、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用。熟成された温かみのある音色が魅力だ。

VOL.12 7!! with LJ26 ARE / LLX36C ARE

MICHIRU



KEITA



ていねいな作りで、他にはない上品さがある

MICHIRU KEITA が選んだ LLX36C ARE は、高音域と中音域の鳴りが良かったので、アンサンブルとして考えたときに、低音域が豊かなギターがいいなと思って LJ26 ARE を選びました。LJ26 ARE は本当にていねいな作りで、他にはない上品さがあります。バックギンもアルペジオもいけるから、アンサンブルとして音を作りやすいし、ジャンルを選ばずに使えます。

KEITA もともと、カットウェイのギターが欲しいなと思っていて。いくつかヤマハのアコギを試奏した中で、音の感触とネックのフィット感が一番合うものを選びました。Aadd9 コードが好きなんですけど、それを鳴らしたときの響き良かったです。僕は手が小さいんですけど、ヤマハのギターは弾きやすさも断然いいですね。

▼ MICHIRU の愛用モデル



YAMAHA LJ26 ARE

オープンギアタイプのペグなど、ウィンテージライクな外観が魅力。木材には、ヤマハが独自に研究・開発した木材改質技術「A.R.E.」が施されており、抜群の鳴りを誇る。

▼ KEITA の愛用モデル



YAMAHA LLX36C ARE

こちらも同じく「A.R.E.」を採用。ピックアップシステムはシステム 60 で、ブリッジ付近に仕込まれた 3 つのピックアップによって、緻密な音作りが可能となっている。



LATEST SINGLE

オレンジ

¥1,111 +税

EPIC Records Japan
15年2月11日リリース

VOL.13 イベント《Acoustic Mind 2014》大阪編

12/15(月)
大阪
ビッグキャット

名機 L シリーズの誕生 40 周年記念ライブ!

ヤマハギターを彩ってきた“L シリーズ”の誕生 40 周年記念ライブが、大阪と東京にて開催された。ステージは楽器店を模したセットで、ホストを務める井関店長（キマグレン ISEKI）が、楽器店に訪れたアーティストをもてなすというユ

ニークな設定。シンセサイザーやデジタルパーカッションに、アコギの音色が心地良く溶け合う Czecho No Republic。確かなテクニックと情景豊かな歌声を披露したダイスケ。井関店長との絶妙なトークに、笑いが絶えなかった UNIST

の GAKU。軽快なトークと演奏で観客との一体感を生んでいた吉田山田。そして、井関店長と KUREI による熱いステージに観客も総立ち。最後は出演者全員でクリスマスソングを熱唱し、観客に少し早めのクリスマスプレゼントを届けた。

武井優心 (Czecho No Republic)
LSX26C ARE



ダイスケ LLX26C ARE



GAKU (UNIST) LLX36C ARE



吉田山田 LJ26 ARE



ISEKI (キマグレン) LL36



L Series 40th Anniversary Special Live
最後は全員でクリスマスソングを



VOL.14 イベント《Acoustic Mind 2014》東京編

12/16(火)
ゼップ
ダイバーシティ
東京

ベテラン勢も参加した心温まる感動的な一夜

この日も、ホストを務めるのはキマグレンのISEKI 扮する井関店長。楽器店に立ち寄るアーティストと井関店長の軽妙なトーク、セッションに会場は大盛り上がり。14年にメジャーデビューしたばかりの沖縄出身の女性シンガーソングライ

ター Suzu。ピアノとギターで流麗なアンサンブルを披露した森恵。珠玉と呼ぶに相応しい、明瞭なアコースティックサウンドを醸成していた豪華トリオ、Chage、吉川忠英、田中彬博が名演を繰り広げる中、トリを飾ったのはLシリーズの開発

から現在に至るまでLを愛用してきた南こうせつ。アンコールは全員で「なごり雪」、そしてアカペラで「ぎよしこの夜」を熱唱。Lシリーズが素晴らしいアーティストたちと観客をつなぎ、感動的な一夜となった。



L Series

世界中のアーティストに愛される、日本を代表するギター

Electric Acoustic Guitar

ステージで求められるナチュラルな音色と高い演奏性を実現



LL36 ARE
¥360,000 (税抜)

- ボディ：イングルマンスブルース単板(トップ)、インドローズ単板(サイド&バック)
- ネック：マホガニー&ローズウッド 5 プライ
- 指板：エボニー
- ブリッジ：エボニー



LJ16 ARE
¥100,000 (税抜)

- ボディ：イングルマンスブルース単板(トップ)、ローズウッド単板(サイド&バック)
- ネック：マホガニー&ローズウッド 5 プライ
- 指板：エボニー
- ブリッジ：エボニー
- ピックアップ&コントロール：パッシブタイプピックアップ
- カラー：BS (ブラウンサンバースト/写真)、NT (ナチュラル)



AC3R
¥105,000 (税抜)

- ボディ：シトカスブルース単板(トップ)、ローズウッド単板(サイド&バック)
- ネック：マホガニー
- 指板：エボニー
- ブリッジ：ローズウッド
- ピックアップ&コントロール：SYSTEM63 (SRTシステム)
- カラー：NT (ナチュラル/写真)、VS (ヴァンテージサンバースト)



APX1000
¥95,000 (税抜)

- ボディ：スブルース単板(トップ)、フレイムメイプル(サイド&バック)
- ネック：ナトー
- 指板：ローズウッド
- ブリッジ：ローズウッド
- ピックアップ&コントロール：SYSTEM63 (SRTシステム)
- カラー：CRB (クリムゾンレッドバースト/写真)、MBL (モカブラック)、NT (ナチュラル)、PW (パールホワイト)

▲長年培われた確かな職人技術と、最先端のテクノロジーが融合した逸品です。ボディトップには、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用。抜群の鳴りと、粒立ちの良い味わい深い音色を堪能できます。

▲歯切れの良いストレートなサウンドで、幅広い演奏スタイルに対応。パッシブピックアップを搭載し、ライブでも活躍します。ボディトップに「A.R.E.」を施した、コストパフォーマンスの高いモデルです。

▲革新的ピックアップシステム「SRT」を搭載し、ボディの響きや空気感を再現。握りやすさを追求したネックにより、ストレスのないフィンガリングを可能にします。ウッディなデザインも魅力です。

▲小ぶりな薄型のボディが、抜群の演奏性を実現します。ステージ映えるデザイン、さらに「SRT」ピックアップシステムによる本格的なサウンドで、ワンランク上のパフォーマンスを約束します。

お問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口 ☎0570-013-808 <http://jp.yamaha.com/guitar>

カタログコード - DE5291